

報道機関各位



新潟県小千谷市役所

小千谷市城内2丁目7番5号

人口問題対策プロジェクト・チームを設置しました

小千谷市では、深刻化する人口減少への対応を図るため、庁内の若手職員を中心に人口問題対策プロジェクト・チームを設置しました。

人口問題対策は、あらゆる行政分野・施策に関連しますが、プロジェクト・チームでは「若い世代の就労、結婚、出産、子育て、移住・定住」にポイントを絞って検討を行います。

- 名称：「人口問題対策プロジェクト・チーム」
- 目的：人口動向（減少事由）を分析し、減少の歯止め等について施策を検討
- 設置期間：平成26年12月1日～平成27年11月30日
- 構成：総括者1名（企画政策課）を含む10名体制
- 庶務事務担当：企画政策課

本件に関するお問い合わせ先／小千谷市企画政策課企画経営係 担当／大矢・勝野

TEL：0258-83-3507 FAX：0258-83-2789 E-mail：plan-kk@city.ojiya.niigata.jp

平成 26 年 12 月 1 日

報道機関各位

**新潟県小千谷市役所**
小千谷市城内 2 丁目 7 番 5 号

中越大震災から 10 年事業 ～すぎなみからの贈り物～
杉並児童合唱団コンサートの開催について

10 年前の平成 16 年 5 月 12 日に災害時相互援助協定を締結し、中越大震災発生時に多大なご支援をいただいた東京都杉並区から、児童合唱界をリードしている杉並児童合唱団が小千谷市にやってきました。

杉並児童合唱団のステージは、ただ歌うだけでなく、踊ったりいろいろなフォーメーションを組んだり、ステキな衣装でたくさんの表情あるステージをみせてくれます。

来市する小学生から高校生までの約 40 人がお送りするステージは、観る人へ“合唱の楽しさ”を届けてくれることでしょう。

歌って踊って魅了する『杉児ワールド』をぜひ体感してください！

- ◆日時 12 月 14 日（日）午後 2 時から（開場：午後 1 時 30 分から）
- ◆会場 小千谷市民会館大ホール
- ◆プログラム ▽音楽の花束▽童謡唱歌メドレー▽杉並ポピュラー ～Screen Music & The BEATLES～ ほか
- ◆入場無料（整理券が必要です）
- ◆入場整理券配付場所
市民会館、総合体育館、ホットプラザ（勤労青少年ホーム）
- ◆杉並児童合唱団 プロフィール

昭和 39 年に誕生し、NHK の「歌は友だち」のレギュラー団体として出演。楽しめる演奏を作り上げるために「合唱ミュージカル」やリズムにのった振り付けを加えた「ポピュラー曲」の開発に力を注ぎ、数多くの作品を発表。観て聴いて楽しさいっぱいこれらの作品は、全国の多くの合唱団に愛唱されています。また、「世界の名曲や民謡」を効果的に編曲した曲で、平素クラシックには興味を持たない人々にもその素晴らしさを伝えてきました。主な活動は、独自公演のほか、全国各地での招待公演やCMソングレコーディング・テレビ出演など、明るくさわやかな歌声で杉児ファンを魅了しています。現在団員は 3 歳から大学生までの約 200 人（来市するのは小学校高学年から高校生の選抜メンバー約 40 人です）。今年創立 50 周年を迎え、児童合唱界のリーダー的存在としてその実力と名声はゆるぎない存在となっています。

本件に関するお問い合わせ先／小千谷・杉並交流事業実行委員会

（小千谷市総務課） 担当／西方・渡辺

TEL：0258-83-3506 FAX:0258-83-2789 E-mail：soumu@city.ojiya.niigata.jp

平成 26 年 12 月 1 日

報道機関各位



新潟県小千谷市役所

小千谷市城内 2 丁目 7 番 5 号

小千谷市指定文化財

世界に誇る「錦鯉」関連資料を市文化財に指定しました

小千谷市教育委員会は、11 月 27 日（木）、市内在住の個人が所有する錦鯉関連資料を有形文化財に指定しました。

この錦鯉関連資料は、今から百年前の大正 3 年（1914 年）に開かれた東京大正博覧会に出品された錦鯉の様子が描かれた、貴重な資料です。（別紙参照）

■指定する市文化財の名称等

名称及び員数 にしきごいえがたちょうおよびかんれんしりょう 錦鯉絵型帳及び関連資料 8 冊

種別 有形文化財（歴史資料）

所有者 伊佐 与喜雄（いさ よきお）小千谷市大字浦柄

作られた年代 大正 3 年（1914 年）～大正 4 年（1915 年）

内容及び由来 大正 3 年に東京、上野で開催された大正博覧会に、当時の古志郡東山村、竹沢村両村などで特産の錦鯉（当時の名称は変鯉）を出品した際の資料など。江戸時代後期から始まる錦鯉飼養の歴史の中で、錦鯉の色合いや模様など、当時の様子が絵画で現存する最古の資料である。当時の東山村長平澤彦三郎の名義で作成されている。

指定理由 小千谷市及びその周辺で、江戸時代後期に始まった錦鯉養殖に関して、その体色や模様が記録として残されている最古の資料であり、大正 3 年当時の錦鯉の様子がわかる資料として貴重である。

錦鯉の発祥 江戸時代後期に二十村郷（現在の小千谷市東山地区、旧山古志村、旧川口町、旧堀之内町の一部）で突然変異を起こした食用鯉を品種固定したもの。明治時代には盛んに売買されるようになるが、大正博覧会をきっかけに日本全国で知られるようになる。錦鯉という名称は昭和に入ってからで、それまでは変わり鯉、色鯉など様々な名称で呼ばれていた。

市の魚 平成 26 年 10 月 23 日には、小千谷市、長岡市で錦鯉は「市の魚」に制定されました。

本件に関するお問い合わせ先／小千谷市教育委員会生涯学習スポーツ課 担当／安達・篠田

TEL : 0258-83-0077 FAX:0258-83-0078 E-mail : syougai@city.ojiya.niigata.jp

平成 26 年 12 月 1 日

報道機関各位



新潟県小千谷市役所

小千谷市城内 2 丁目 7 番 5 号

**小千谷産カリフラワー使用「カリフラワーのポタージュ」が
首都圏 J R 駅コーヒーショップで販売されます。**

小千谷市と東日本旅客鉄道株式会社との共生策の一環として、昨年引き続き東日本旅客鉄道株式会社と越後おぢや農業協同組合との連携が整い、小千谷産カリフラワーを使用したポタージュスープを、12月9日（火）より東京、新宿、秋葉原、池袋、横浜など首都圏 J R 駅構内「ベックスコーヒーショップ」全 85 店舗において冬季限定 1 万 4 千食が販売されます。

今回販売される小千谷産「カリフラワーのポタージュ」は越後おぢや農業協同組合に所属している小千谷北部出荷組合が生産したカリフラワーを使用しています。丁寧に濾した小千谷産カリフラワーにベーコンの旨味を加え、シンプルでやさしい味わいに仕上げてあります。

東日本旅客鉄道株式会社では、「地域再発見プロジェクト」として地域と連携しながら地産商品など「地域のたからもの」を発掘、紹介する事業を展開しており、「カリフラワーポタージュ」もその一環で実現したものです。

商品販売に加えて、12月8日（月）～12月14日（日）の1週間は首都圏 J R 線の車内モニター（トレインチャンネル）に小千谷市の風景とともにカリフラワー生産者が登場する 15 秒の映像広告が約 20 分に 1 回の割合で放映されます。

なお、今回の「カリフラワーのポタージュ」販売にあたり、越後おぢや農業協同組合から 1,740 kg のカリフラワーを出荷しております。

本件に関するお問い合わせ先／小千谷市農林課農村支援係 担当／高橋

TEL : 0258-83-3506 FAX:0258-83-2789 E-mail : nourin@city.ojiya.niigata.jp